

BBS会会長賞

あいさつ運動

堺市立 宮園小学校 六年

角野 莉沙

私は初め、犯罪や非行に対して、よくない事、怖いなどマイナスイメージだったけど、私は犯罪や非行の学習を通して、もう罪を起さない人や、また一からやり直したいっていう人がいて、イメージが変わりました。でも、また犯罪を起こす人もいて、少し怖かったけど、私は社会を明るくするためにあいさつ運動を提案します。

なぜなら、あいさつをすると暗い気持ちがなくなり、明るい気持ちになっていき、私たちがあいさつをしたら、身の周りの人たちにもあいさつが増え、社会が明るくなると感じ、それだけでも社会を明るくする運動に協力できるのかも思ったからです。

自分が体験したことです。私が朝、学校に行くとき、グラウンドで、ゴルフをしている人たちがたくさんいた。その時私は、勇気をふりしぼって言った。

「おはようございます。」

思ってもいない声が出た。自分でもびっくりだった。

「どうしてあんな声でたんだらう。」

と思ったときに、ゴルフをしていた人たちが、

「おはよう。学校がんばってね。」

って言うてくれた。すごくうれしかったし、気持ちがとてもあつたかかった。私はそのときあいさつってとても大事なことなんだ。一言のあいさつでも気持ちがいいんだなと思った。

その後、学校では、大きい声では言えなかったけど、

「おはよう。」

って友だちに言えてちよつとうれしかった。そういう体験をして、あいさつって大切なんだなと感じました。だから、私はあいさつだけでも続けると、社会が明るくなったりすると思いました。

でも、学校になじめない子や、自分で話しかけるのがいらない子などいるから、私は自分から積極的に元気で大きな声であいさつをしたいと思います。なぜなら、あいさつっていいのは、中国の言葉で、歩み寄るといふ意味があるそうです。

自分から歩み寄ったら、積極的になれない子達も、あいさつをすることによって心をひらいてくれるんじゃないのかなと思った。

からです。私が体験したように、あいさつを返してもらったら、あたたかい気持ちになるのを学校になじめない子たちにも、体験してほしいと思いました。そしたら、私みたいに、自分からあいさつをしよう、自分からしゃべりかけようと思ってくれるんじゃないかなと思います。

あいさつをしたら、みんな笑顔で返してくれることが多いので、笑顔が増えると思います。

このようにあいさつをすることで、みんなが笑顔になり、暗い気持ちから明るい気持ちに変わったり、あいさつをすると前向きな気持ちになって、みんなの関係も良くなって犯罪や、非行やいじめなども、事前にふせげると、私は思います。

だからこれからも私は大きな声で、いろんな人に、あいさつをしようと思います。

